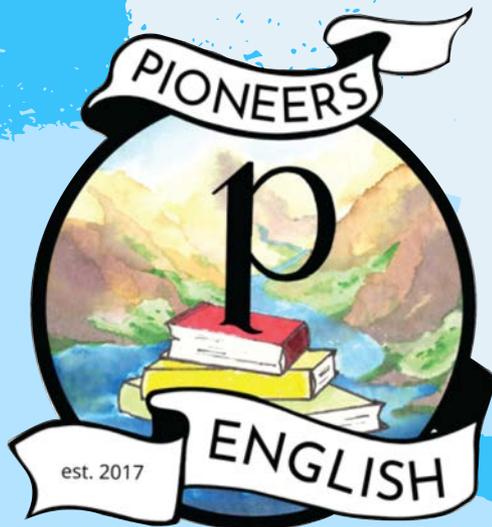


Pioneers English

ハーバード式世界最高水準の
英語リテラシー教育





子どもたちの 将来の選択肢を 広げるための 英語教育

Pioneers English のミッション

指導方針

①グローバルマインド

国際的視野を持てる英語力を身に着けるリテラシープログラム

②英語4技能＋論理的思考力

話す、書く、聞く、読むスキルをベースに理論的に考える

③ディスカッション力

グループワークを通してディベート力、交渉力を取り入れた学習



教育理念

文化的・国際的な意識・知識

自分の意見や考えを自由に発信できる
安全な学習環境



ひとり一人の個性と
他文化への理解を深める
国際水準の英語力を習得

日本英語教育の理想と現実

理想は...



日本が世界レベルで競うには
世界共通言語の英語が必須

2013年、政府が
「プレゼン (発表)・ディベート (討論)・
ネゴシエーション (交渉)」を
基盤にするという指針を掲げた

だが、実際は課題点が多い



世界の英語習熟度ランキング

1	オランダ
2	デンマーク
3	フィンランド
4	スウェーデン
5	ノルウェー
6	オーストリア
7	ポルトガル
8	ドイツ

9	ベルギー
10	シンガポール
11	ルクセンブルク
12	南アフリカ
	□
32	韓国
33	香港
	□

38	中国
	□
50	インド
51	アルメニア
	ウルグアイ
53	ブラジル
54	チュニジア
55	日本

100の国と地域で、日本はなんと5段階中下から2番目の英語力！
なぜなのでしょう？

日本での英語教育の課題

1

学校の英語教師の水準が低い

2

教材力が弱い

3

不自然な環境で学ぶ英語

Pioneers Englishでは
どうでしょう？





1 英語教員の実力

英語教員のレベル比較

日本の英語教育

Pioneers English

教員 英語力

英語が十分に話せる教員（岡山県の場合）

- 小学校:**5.7%**（9割が不十分）
- 中学校:**28.9%**（7割が不十分）

- 全教員がネイティブ or バイリンガル
- 英語責任者ハーバード大学院在籍

専門性

外国人教員の免許保持率（2017年上智大学調査）

- 全体の約**20%** 大卒**50%**程度

- 英語指導免許保持率 **100%**
- IB(国際バカロレア)講師在籍

教員研修

日本人教員と外国人教師のコミュニケーションができずレッスン内容の意思疎通が成されていない

毎年コロンビア大学や海外教育機関と連携し教員研修を実施

Pioneer English の先生たち



Mari Sawa

(Pioneers English創業者、統括責任者)

アメリカHarding Universityで幼児教育(幼～小4)を学び、HardingにてMaster's in Readingを取得。
リテラシースペシャリストとして文学を通して思考をしていく教育を専門としている。
現在はハーバード大学院生として最新の教育について日々授業を受け、プログラム開発と現場指導を行う。



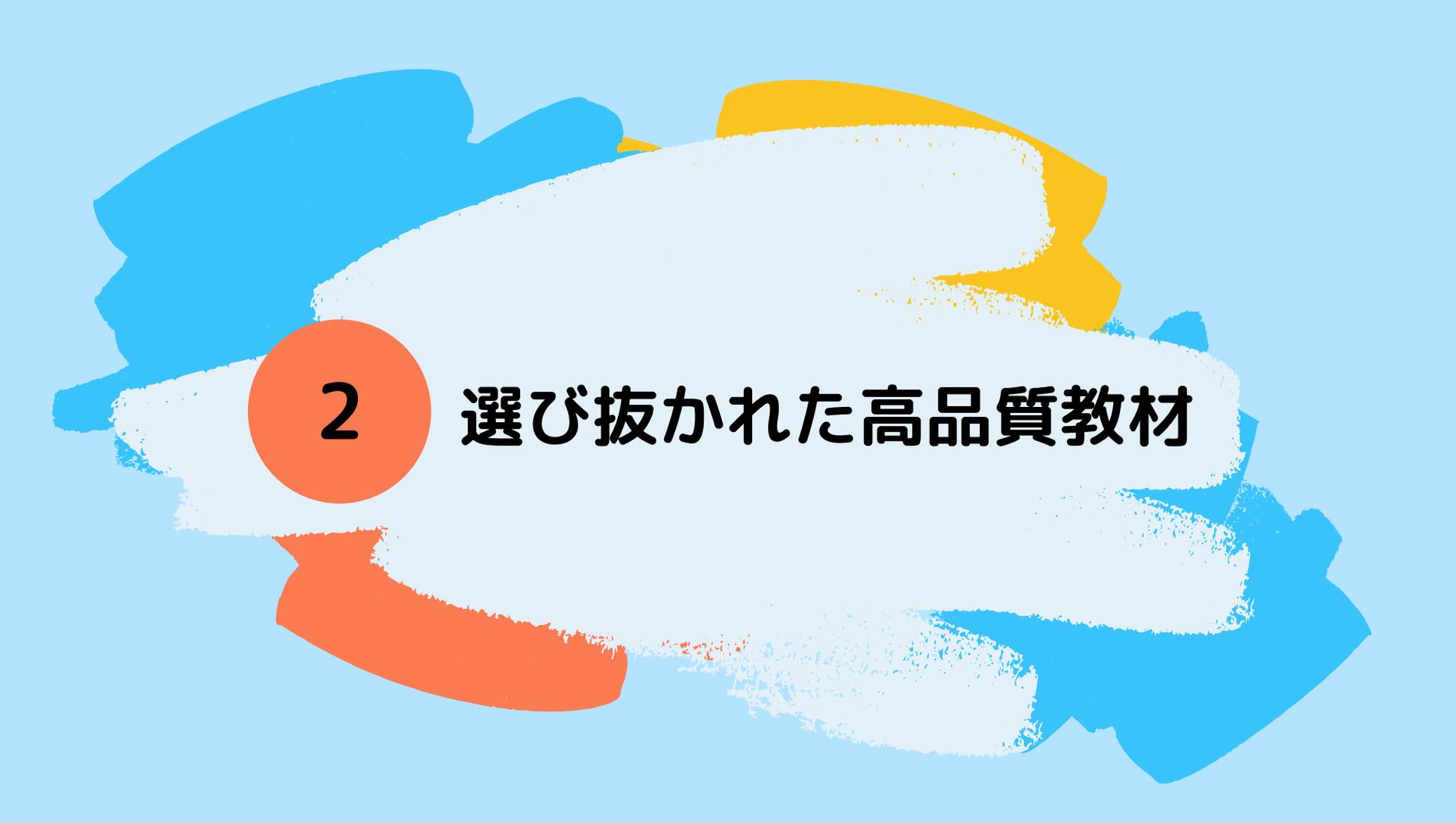
Taylor-Ann Kageyama

アメリカ、カリフォルニア州出身。
California State University Monterey Bay卒業。2015年より幼稚園から社会人まで幅広く英語教育の活動をはじめ、岡山大学へ勤務。現在アースエイトユニバーサルスクールに在籍。園児から大学生まで様々なプログラムで活躍中。



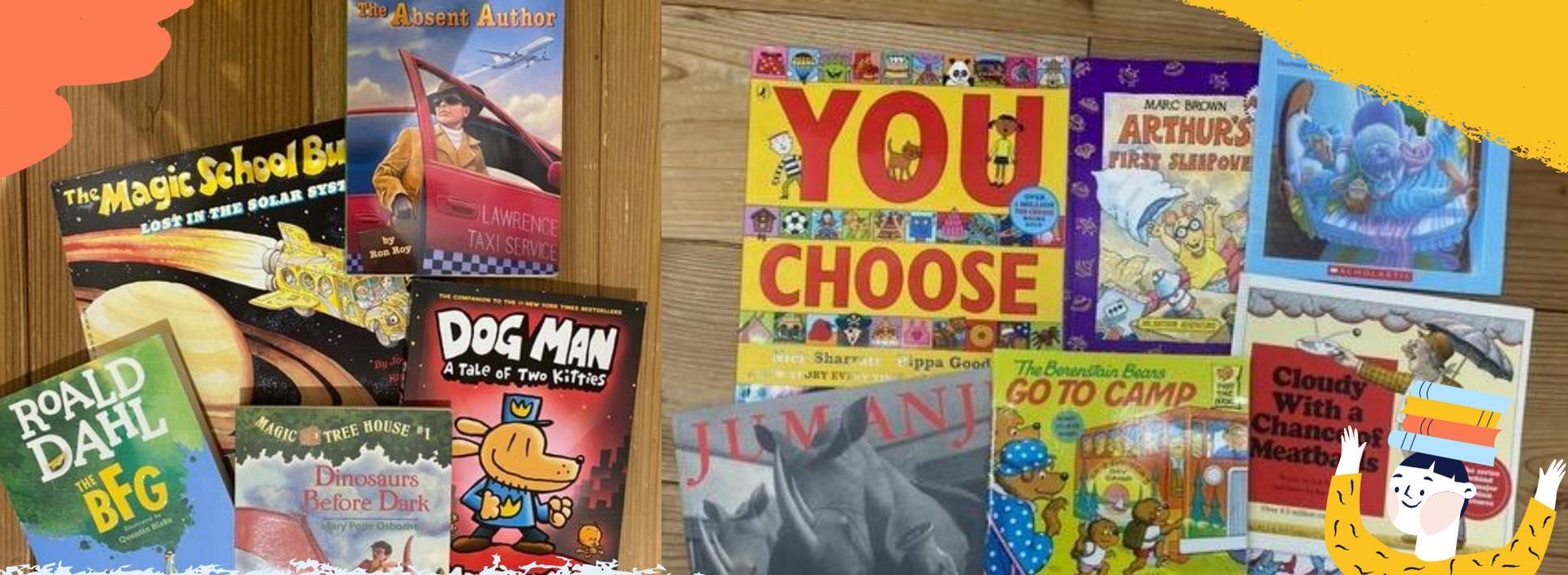
Natashya Anwar

Universities Negeriに在学中、文部科学省講師育成プログラムメンバーに選出され、岡山大学にてサイエンス教育に関する研究を行う。12年間世界最大手のインターナショナルスクールにてIB教育をしたのち、2020年アースエイトユニバーサルスクールに在籍。IBプログラム、STEAM教育の専門家



2

選び抜かれた高品質教材



アメリカの学校で使われる
教材を使用



本物の資料にこだわる

教科書ではなく実際英語圏で触れるもの(絵本、小説、新聞など)を
テキストとして使う



読解→自分の意見を考える→発信する

を練習・実践していく

クリティカルリーディング

で「プレゼンカ・議論・交渉」の思考力を鍛える



レベル別のコンテンツ

Beginners

初心者

1. 英語の**基礎**
2. 「**読む**」習慣をつける
3. 基礎的な**語彙力**を伸ばす

Transition

中級者

1. 「**コンテンツ**」を基盤にした勉強
(学習言語に触れる)
2. **ワークショップ**形式で
リーディング・
ライティング力を伸ばす

Advanced

上級者

1. コンテンツから
自発的な研究
2. テキストと**対話**
3. 読む内容を**解釈、
批評する力**をつける
4. 内容を積極的に
話し合う

Beginners
初心者

Transition
中級者

Advanced
上級者

Beginners (初心者)



- 英語の**基礎**
 - フォニックス(音+アルファベット)→読む
 - スペリング
 - 文章力の向上
- 「**読む**」習慣をつける
- 基礎的な**語彙力**を伸ばす

Beginners
初心者

Transition
中級者

Advanced
上級者

Transition (中級者)



- 「コンテンツ」を基盤にした勉強
- 学習言語に触れる
- **ワークショップ形式で**
リーディング・ライティング力を伸ばす
 - 新しいスキル・アイデアを本・作家から学ぶ
 - グループでそのスキルを試し自分の文章に応用する

Beginners
初心者

Transition
中級者

Advanced
上級者

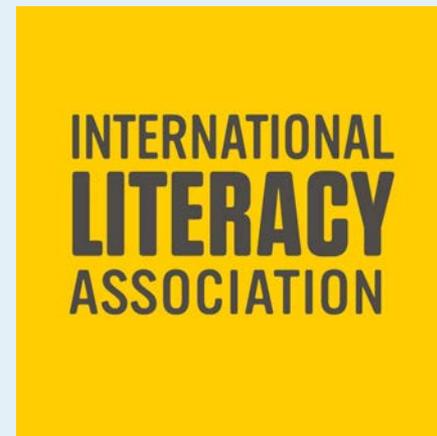
Advanced (上級者)



- コンテンツの自発的な研究をする
- 小説、ニュース記事などを読む
- テキストと対話する
- 読む内容を解釈、批評する力をつける
- 内容を積極的に話し合う、ディスカッション力を伸ばす

英語教員研修

先生たちも新しい教材開発のため
定期的に高レベルの研修を受け、
最新教育情報を取り入れている



TEACHERS COLLEGE

COLUMBIA UNIVERSITY

A Graduate School of Education, Health & Psychology



3

整った環境で英語を学ぶ



Pioneers Englishを通して
海外留学や**海外キャンプ**で
英語に触れる機会を増やす

生活・旅行レベル (BICS)

日常会話+α

旅行や海外でのバイトには十分

集中短期講座・英会話教室でも
得られる

留学・ビジネスレベル (CALP)

高等教育(大学など)の深い理解

将来の選択肢が広がる

反復(時間の投資)とリテラシー
が必要



リテラシー教育とは？

What is literacy education?

言葉の読み書きとそれらの
延長線上にある総合的な表現・思
考の育成



CALP



習得レベル



BICS

リテラシー必須



英語圏大学で
良い成績で卒業

英語圏大学合格

語学学校

英会話教室

学校

英会話レベル



900

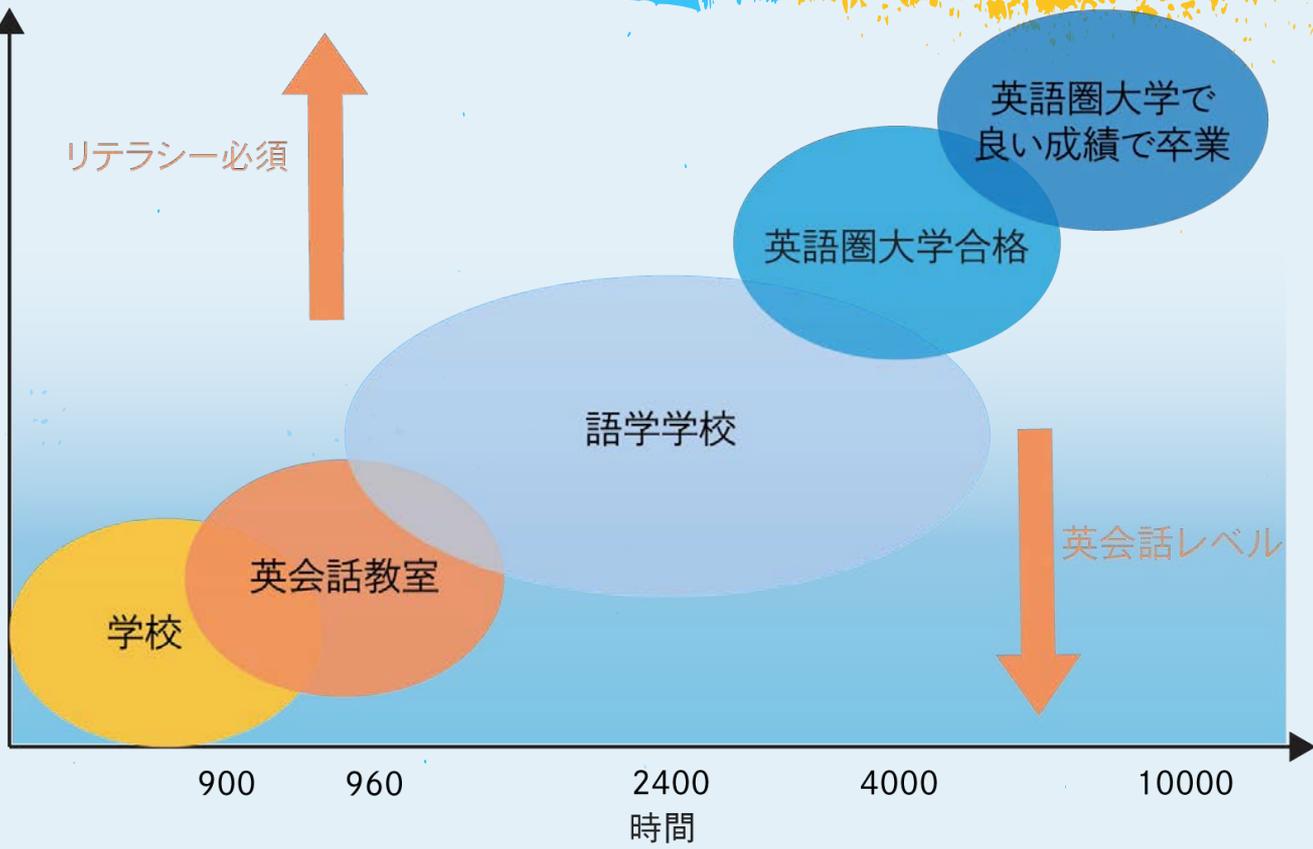
960

2400

4000

10000

時間



英語レベル	学習時間	必要な英語力
海外大学 好成绩 (ビジネスレベル)	4000~10,000時間 (長期的な学習が必要 入学後伸ばすのは超ハード)	リテラシー力 必須
海外大学 合格 (入学レベル)	約4000時間~ (成績は良くないが卒業可)	
語学学校 準備 (留学準備レベル)	約2400時間 (1年/週5/1日10時間)	英会話レベルで OK
バイト・旅行 英会話教室 会話レベル	約960時間 (10年間:週2-60分)	
小中学校英語 初心者 (英語開始レベル)	約900時間 (9年間:年間100時間)	

留学生に関して英語圏大学の教授たちの声

英大学卒業生の
最優良ランク取得者割合

43% vs 80%

非EU・英語圏学生

イギリス人学生

引用元

: <https://www.hesa.ac.uk/data-and-analysis/publications/students-2008-09/introduction>



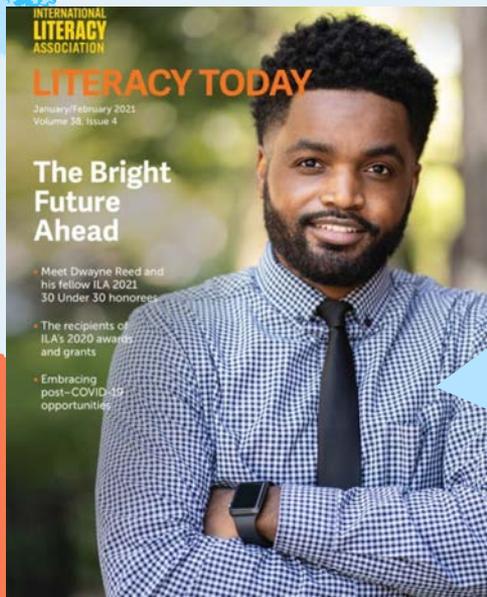
授業の内容を理解できるほどの
英語力、課題をこなせるほどの
文法力、さらに教授と上手に**質疑
応答**できることを外国人生徒に要
求することが妥当でしょう。

留学する段階であまり英語力
がなければ、上達はすれど、
そこまでの上達はしない

素晴らしい英語の文章力
はない… 筆記試験や宿題
をこなすための最低限の
英語力だ

リテラシーの最先端で認められた留学プログラム

インターナショナル・リテラシー・アソシエーション (ILA) が選ぶ
“30 Under 30”でEarth 8ightの留学プログラムが特集されています



Mari Sawa, 29

Literacy Specialist, Earth8ight School | Okayama, Japan

When Mari Sawa began teaching at Earth8ight School, she was given the opportunity to create a literacy program focused on developing critical thinking skills and widening her students' and their families' worldviews.

One of her greatest successes is the implementation of a study abroad trip that enables kindergartners and their families to travel to the United States for a week. Sawa, who attended college in the U.S., believes the opportunity to attend an American school for a week allows students to experience English as a living language. For many family members, it is their first opportunity to travel abroad. "The parents are able to experience globalism and see the possibility of their children living in a bigger world in the future."

Along with serving as a literacy specialist, Sawa is also a kindergarten teacher, after-school program director, parent education director, and staff education director for Earth8ight.

Sawa's ultimate goal is to revitalize the entire family in literacy education. "With the parents becoming readers, the children will also have great models to become lifelong readers."

Last fall, Sawa was accepted into the Harvard Graduate School of Education, where she will earn a master's degree through the Human Development and Psychology program.

学習費用のご案内：

クラス	定員	時間	入塾金 (1回のみ)	基本授業料	教材費
週1グループクラス	各クラス 10名まで	週1時間	¥30,000	¥12,800/月	¥2000/月
週2グループクラス	各クラス 10名まで	週2時間	¥30,000	¥19,800/月	¥2000/月
プライベートレッスン	1名	週1時間	¥30,000	¥30,000~/月	¥2000/月

*レッスン日はレベルによって異なります。
月曜日～金曜日16:00～18:00(開始時間)

通塾決定後：
個別テスト→レベル決め→クラス日程、時間の相談→通塾スタート！

参考資料・研究

- Crawford, I., & Wang, Z. (2014). The impact of individual factors on the academic attainment of Chinese and UK students in higher education. *Studies in Higher Education*, 40(5), 902–920.
- McMahon, P. (2018). 'Making the Grade': A Grounded Theory Explaining the Student Experience of Asian and Middle-Eastern Postgraduates in a British University. *Journal of Higher Education Policy and Management*, 40(1), 34-47.
- Ng, C. L. (2016). Primary school English reform in Japan: Policies, progress and challenges. *Current Issues in Language Planning*, 17(2), 215-225.
- Toh, G. (2011). Facilitating Critical Reading in the Teaching of English for Academic Purposes in a Japanese EAP Classroom. *TESL Reporter*, 44(1&2), 42-50.
- Understanding Diversity – Perspectives from University Departments Hosting Large Percentages of International Students. (2020). *Journal of Higher Education Theory and Practice*, 20(1), 11–32.

CREDITS: This presentation template was created by **Slidesgo**, including icons by **Flaticon**, and infographics & images by **Freepik**